

# NS マキシム・ボックス

## テクニカル・マニュアル

### 警告

- 本書をお読みいただき、ご理解いただいた上で取付け工事を行って下さい。
- 本書は、取付け工事中でのご不明な点やメンテナンスにより製品の構造をご確認いただく上で重要となりますので、いつでも調べられるよう大切に保管して下さい。



# 目次

<b>1</b>	<b>基本構成</b>	
	1. 主要部材名称 .....	1
	2. 断面納まり図 .....	1
	3. 平面納まり図 .....	2
	4. 取付けタイプ .....	3
<b>2</b>	<b>仕様</b>	
	1. 出巾と勾配の関係 .....	4
	2. 取付け時の注意 .....	4
	3. 間口規格別標準設置寸法 .....	5
	4. 規格記号、重量表 .....	6
	5. 部材寸法設定表 .....	7
	6. 部品リスト .....	7
	7. 手動ギア（逆転防止機構付）について .....	9
<b>3</b>	<b>施工</b>	
	1. 取付けの準備 .....	10
	2. 上ケースの取付け .....	11
	3. ベースパイプの組立 .....	11
	4. ベースパイプの取付け .....	11
	5. キャンバスの組込 .....	12
	6. 巻取パイプFサイド側の取付け .....	12
	7. 巻取パイプDサイド側の取付け .....	13
	8. 巻取サポートの取付け .....	13
	9. 前枠の取付け .....	14
	10. アームの取付け .....	14
	11. 前枠金具の取付け .....	15
	12. アーム角度の調整 .....	15
	13. 前枠金具の調整 .....	16
	14. アームテンションの調整（参考） .....	16
	15. 前枠ガイドの取付け .....	17
	16. アームストッパーの設置 .....	17
	17. 前枠の組立 .....	18
	18. 下ケースの取付け .....	18
	19. ケース側板の取付け .....	19
	20. コーキング .....	19
	21. 施工後のチェック項目 .....	20
<b>4</b>	<b>結線システム</b>	
	1. モーターの組込み .....	21
	2. 電源の確認 .....	21
	3. モーター性能表 .....	22
	4. リミット装置とモーター線 .....	22
	5. リミット調整方法（モーター左付けの場合） .....	22
	6. マイクロスイッチの結線 .....	23
	7. マイクロスイッチの取付け微調整 .....	23
	8. 標準スイッチ .....	24
<b>5</b>	<b>キャンバスの縫製</b>	
	1. キャンバス選定の注意 .....	25
	2. 縫製方法 .....	26
<b>6</b>	<b>部品寸法</b>	
	1. 取付ブラケット .....	27
	2. 持出し用下地金具 .....	27
	3. 目かくしプレート .....	27

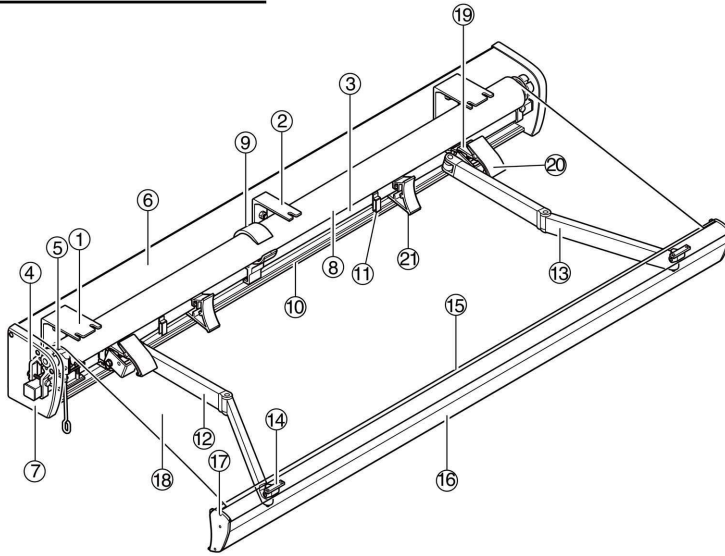
# 1

# 基本構成

## 1

### 基本構成

## 1-1 主要部材名称

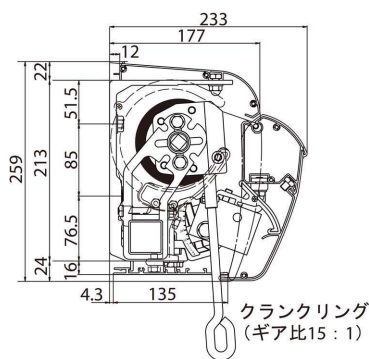


①	取付ブラケット
②	補助ブラケット ※1
③	ベースパイプ
④	エンドブラケット
⑤	手動ギア ※2
⑥	上ケース
⑦	ケース側板
⑧	巻取パイプ
⑨	巻取サポート ※3
⑩	下ケース
⑪	下ケースホルダー ※4
⑫	左アーム ※5
⑬	右アーム ※5
⑭	前枠金具
⑮	前枠
⑯	前枠カバー
⑰	前枠キャップ
⑱	キャンバス
⑲	アームブラケット ※6
⑳	前枠ガイド
㉑	アームストッパー

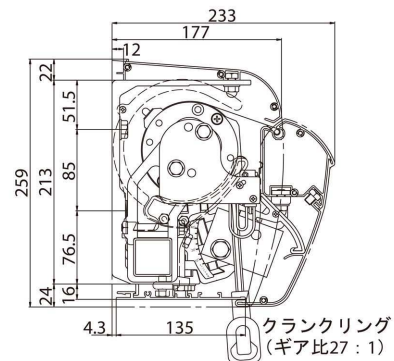
- ※1. 補助ブラケットは、W=3,435（1.75間用）より大きいサイズで使います。  
 ※2. 手動ギアは、手動タイプでの設定です。その他に電動、電手動タイプの設定もあります。  
 ※3. 巻取サポートは、W=5,255（2.75間用）より大きいサイズで使います。  
 ※4. 下ケースホルダーは、間口サイズによって、数が異なります。  
 ※5. アームの規格は、4種類です。  
 ※6. アーム規格10～20と25とでは、形状（ベースパイプへの取付け巾）が異なります。

## 1-2 断面納まり図

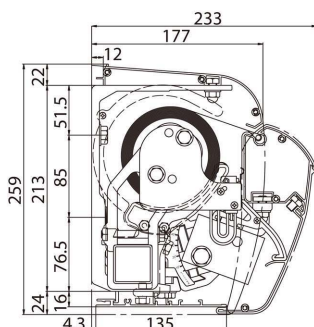
[1] 手動タイプ



[2] 電手動タイプ



[3] 電動タイプ



※ 図はキャンバス角度15° 時での納まりです。キャンバス角度によって、アームブラケットの納まり位置は変化します。また、アーム規格によって設定可能範囲が異なります。

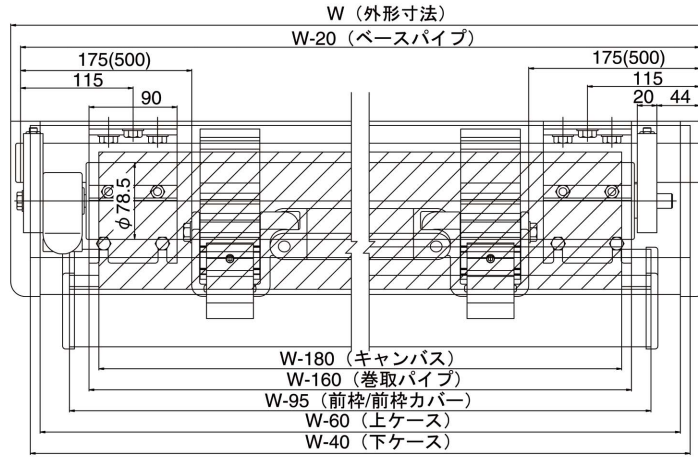
※ 手動・電手動タイプでは、操作ハンドルがセットされます。サイズは9ページの表を参照して下さい。

※ 電動・電手動タイプには、標準スイッチがセットされます。

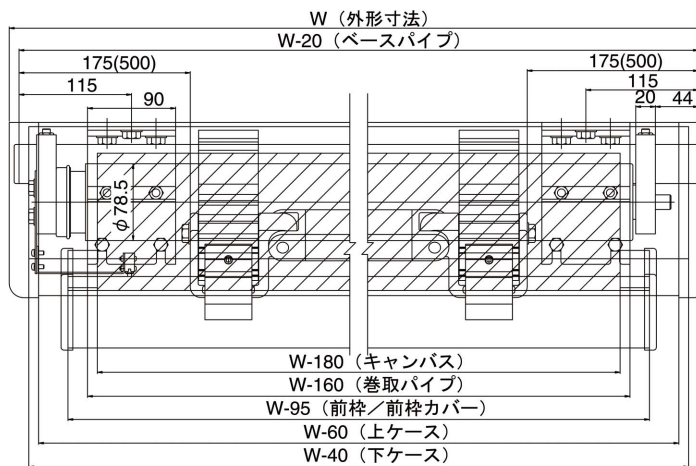
## 1-3 平面納まり図

※寸法(500)は2.25間より大きいサイズ時

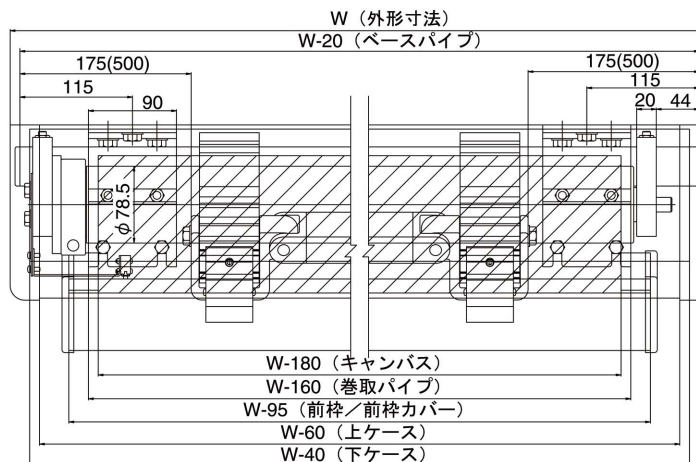
### [1] 手動タイプ



### [2] 電動タイプ



### [3] 電手動タイプ

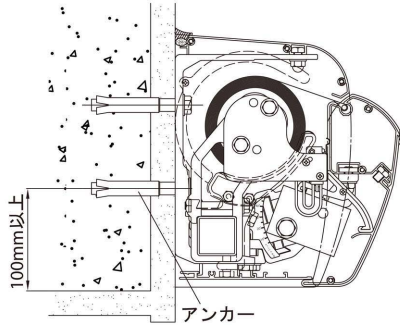


## 1-4 取付けタイプ

※ 取付ブラケットは本体の使用に耐えられる構造体に確実に取付けて下さい。

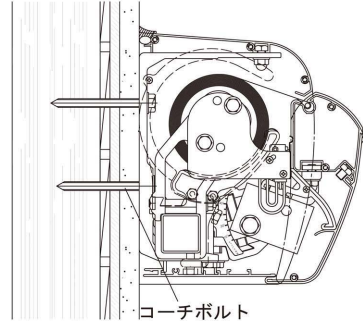
※ 下地金具を用いる場合は、下地金具の強度と取付け部位の強度は本体の仕様に確実に耐えられる金具と方法にして下さい。

[1] コンクリート造壁面納まり



※ アンカー類は躯体の構造に適したものをご使用下さい。

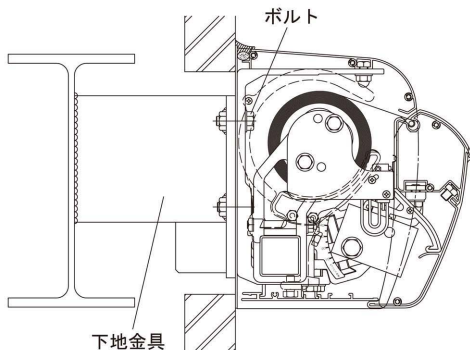
[2] 木造壁面納まり



※ コーチボルトは柱、梁等の構造体に直接締結して下さい。

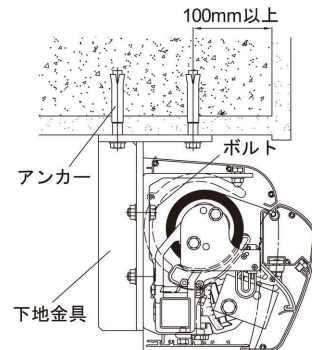
※ 柱は10年以上維持できる十分な強度があり、100□以上の材料（松、栂、檜等）とし、コーチボルトを65mm以上は柱、梁材料に確実にねじ込んで締結して下さい。

[3] ALC造壁面納まり



※ ALC造の場合、必ず構造体の鉄骨から下地金具を用いて取付けて下さい。

[4] コンクリート造天井納まり



※ コーチボルトによる木造天井面への取付けはできません。

## 参考締結部品一覧表

躯体	品 種	サイズ	下穴径
木造	コーチねじ	φ9×100	φ6.5
RC造放し	グリップアンカー	M10×40	φ14.5
RC造放し	オールアンカー	M10×80	φ10.5
RC+ モルタル等	アジャストアンカー	M10×80	φ15.0

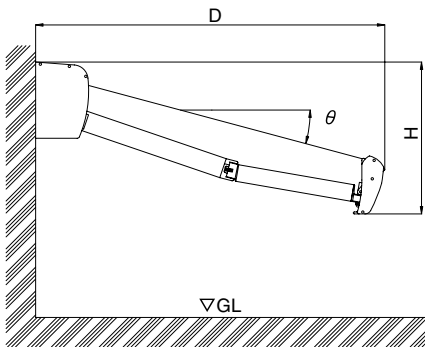
※ アンカーを使用する時は、安全を第一に考えて、十分な強度のある物をご使用下さい。

## 参考可動時間とハンドル回転量

アーム規格 (D)		10
モーター可動時間 (秒)	50Hz	約20秒
	60Hz	約17秒
操作ハンドル回転量 (回)	手動	約60回
	電手動	約108回

※ 表内の数値は巻取パイプφ78.5mmとキャンパス厚0.45mm及び標準設定の手動ギア、モーター等を条件として算出したものです。

## 2-1 出巾と勾配の関係



勾配寸法表

単位：mm

アーム 角度	10		15		20		25	
	D	H	D	H	D	H	D	H
15°	1,180	515	1,527	608	2,008	737	2,490	866
20°	1,152	603	1,489	726	1,957	896	2,426	1,067
25°	1,115	688	1,440	839	1,892	1,050	2,344	1,261
30°	1,071	768	1,382	948	1,814	1,197	2,245	1,446
35°	1,020	844	1,314	1,050	1,722	1,336	2,131	1,622
40°	962	914	1,237	1,145	1,619	1,466	2,001	1,786
45°	899	979	1,153	1,233	1,505	1,585	1,858	1,938

■の範囲は標準設定外です。屋外で使用すると雨がたまる場合があります。

※ 表内の数値は参考値ですので、設置時の目安としてご使用下さい。

※ 途中使いをすると雨がたまりやすくなりますので、ご注意下さい。

## 2-2 取付け時の注意

[1] 取付け部分の上下に障害物がある場合は、取付け位置に注意して下さい。

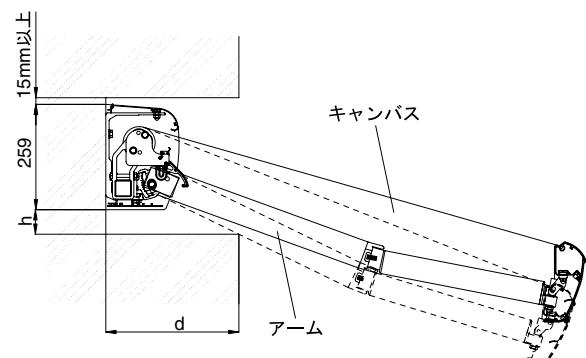
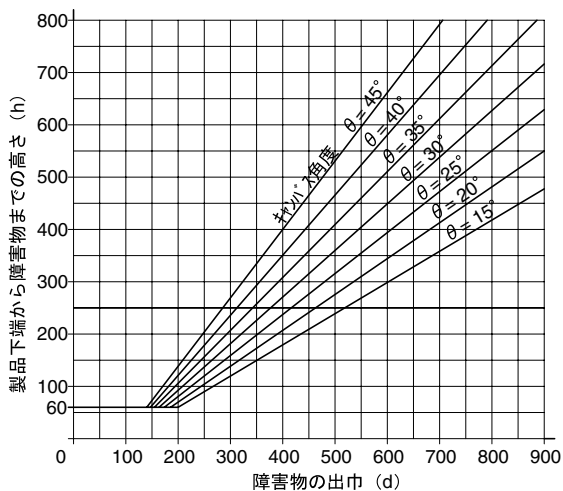
[上部に障害物がある場合]

製品上端と障害物下端との間を15mm以上確保して下さい。

[下部に障害物がある場合]

製品下端と障害物上端との間を $h=60\text{mm}$ 以上（電動タイプ時）確保して下さい。

また、障害物の出巾 (d) とキャンバス勾配によって高さ寸法 (h) は変わりますので、下記表を参考にして下さい。



※ アーム点線は風で吹き下げられた時の位置を表します。

例：キャンバス角度15° で障害物の出巾 (d) が600mmの場合  
高さ寸法 (h) は=300mm以上確保。

## [2] 外形寸法の設定

間口規格は外形寸法（ケース側板外々）を基準としています。

## [袖壁のある壁面等に設置する場合]



## [3] 取付け場所の制限

取付け高さは一般市街地を標準として、地面から16m以下の部分に取付けて下さい。  
16m以下であっても強風の受け易い場所は避けて下さい。

## 2-3 間口規格別標準設置寸法

## [1] アーム規格毎諸寸法

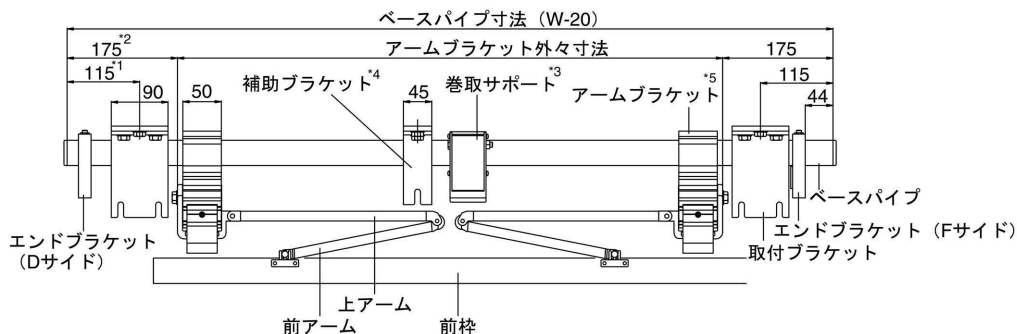
単位：mm

アーム規格		10	15	20	25
最小間口寸法=外形寸法W		1,770 (1,550) [1,615]	2,080 (1,860) [1,925]	2,580 (2,360) [2,425]	3,100 (2,880) [2,945]
形材 寸法	上アーム	530	685	935	1,185
	前アーム	395	610	860	1,110
最小アームスパン		1,400	1,710	2,210	2,730

※( )寸法は手動タイプ、[ ]寸法は電動及び電手動タイプを表し、アームブラケットを取付ブラケットの外側に設置した特殊な納まりです。

※最小アームスパンとは、アーム1ペア(左右)のアームブラケット外々寸法を表します。

## [2] 部品設置寸法



※1. この寸法は115～300mmの範囲内で移動可能です。

※2. ※1の移動に合わせて、調節して取付けて下さい。なお、規格間口2.25間より大きいサイズでは、500mmで設定して下さい。

※3. 巻取サポートは規格間口2.75間より大きいサイズで使用します。また、取付け位置はキャンパスの中央ウェルダークの部分に取付けて下さい。

※4. 補助ブラケットは規格間口1.75間より大きいサイズで使用します。

※5. アーム規格10～20で50mm巾、25では60mm巾となります。



## 2-4 規格記号、重量表

単位：kg

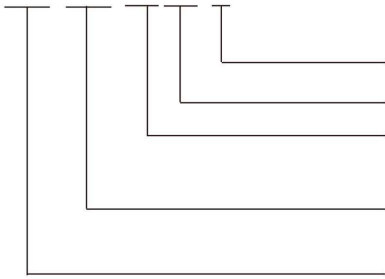
間口規格		機能区分	規格記号 重量	アーム規格			
記号	外形寸法			10	15	20	25
NS20	2045mm (1.0間用)	手動	規格記号 重量	NS-H-2010B 32.0	— —	— —	— —
		電動	規格記号 重量	NS-M-2010B 33.8	— —	— —	— —
		電手動	規格記号 重量	NS-MH-2010B 34.5	— —	— —	— —
NS25	2525mm (1.25間用)	手動	規格記号 重量	NS-H-2510B 37.1	NS-H-2515B 38.3	— —	— —
		電動	規格記号 重量	NS-M-2510B 38.9	NS-M-2515B 40.0	— —	— —
		電手動	規格記号 重量	NS-MH-2510B 39.6	NS-MH-2515B 40.7	— —	— —
NS29	2980mm (1.5間用)	手動	規格記号 重量	NS-H-2910B 41.9	NS-H-2915B 43.2	NS-H-2920B 46.2	— —
		電動	規格記号 重量	NS-M-2910B 43.7	NS-M-2915B 45.0	NS-M-2920B 48.0	— —
		電手動	規格記号 重量	NS-MH-2910B 44.4	NS-MH-2915B 45.7	NS-MH-2920B 48.7	— —
NS34	3435mm (1.75間用)	手動	規格記号 重量	NS-H-3410B 46.8	NS-H-3415B 48.2	NS-H-3420B 51.3	NS-H-3425B 54.1
		電動	規格記号 重量	NS-M-3410B 48.6	NS-M-3415B 50.0	NS-M-3420B 53.1	NS-M-3425B 55.9
		電手動	規格記号 重量	NS-MH-3410B 49.3	NS-MH-3415B 50.7	NS-MH-3420B 53.8	NS-MH-3425B 56.6
NS38	3890mm (2.0間用)	手動	規格記号 重量	NS-H-3810B 51.7	NS-H-3815B 53.1	NS-H-3820B 56.3	NS-H-3825B 59.3
		電動	規格記号 重量	NS-M-3810B 53.5	NS-M-3815B 54.9	NS-M-3820B 58.1	NS-M-3825B 61.1
		電手動	規格記号 重量	NS-MH-3810B 54.2	NS-MH-3815B 55.6	NS-MH-3820B 58.8	NS-MH-3825B 61.8
NS43	4345mm (2.25間用)	手動	規格記号 重量	NS-H-4310B 57.2	NS-H-4315B 58.8	NS-H-4320B 62.1	NS-H-4325B 65.1
		電動	規格記号 重量	NS-M-4310B 59.0	NS-M-4315B 60.6	NS-M-4320B 63.9	NS-M-4325B 66.9
		電手動	規格記号 重量	NS-MH-4310B 59.7	NS-MH-4315B 61.3	NS-MH-4320B 64.6	NS-MH-4325B 67.6
NS48	4800mm (2.5間用)	手動	規格記号 重量	NS-H-4810B 62.1	NS-H-4815B 63.8	NS-H-4820B 67.1	NS-H-4825B 70.3
		電動	規格記号 重量	NS-M-4810B 63.9	NS-M-4815B 65.5	NS-M-4820B 68.9	NS-M-4825B 72.0
		電手動	規格記号 重量	NS-MH-4810B 64.6	NS-MH-4815B 66.2	NS-MH-4820B 69.6	NS-MH-4825B 72.7
NS52	5255mm (2.75間用)	手動	規格記号 重量	NS-H-5210B 66.9	NS-H-5215B 68.7	NS-H-5220B 72.2	NS-H-5225B 75.4
		電動	規格記号 重量	NS-M-5210B 68.7	NS-M-5215B 70.5	NS-M-5220B 74.0	NS-M-5225B 77.2
		電手動	規格記号 重量	NS-MH-5210B 69.4	NS-MH-5215B 71.2	NS-MH-5220B 74.7	NS-MH-5225B 77.9
NS57	5710mm (3.0間用)	手動	規格記号 重量	NS-H-5710B 71.8	NS-H-5715B 73.7	NS-H-5720B 77.2	NS-H-5725B 80.6
		電動	規格記号 重量	NS-M-5710B 73.6	NS-M-5715B 75.5	NS-M-5720B 79.0	NS-M-5725B 82.3
		電手動	規格記号 重量	NS-MH-5710B 74.3	NS-MH-5715B 76.2	NS-MH-5720B 79.7	NS-MH-5725B 83.0

 ※ 重量欄の数値は重さ420g/m<sup>2</sup>のキャンバスを使用した時での本体重量です。

 ※ — の範囲内は、アームが収納できないため設定不可。

## 規格記号の意味

NS-M-4820 B



ボックスタイプ

アーム規格

間口規格記号

H：手動

M：電動

MH：電手動

NSマキシムを示す

## 2-5 部材寸法設定表

単位：mm

間口規格			外形寸法	前枠	前枠カバー	ベースパイプ	巻取パイプ	キャンバス	上ケース	下ケース
記号	mm	間	W	W-95	W-95	W-20	W-160	W-180	W-60	W-40
20	2,045	1.0	2,045	1,950	1,950	2,025	1,885	1,865	1,985	2,005
25	2,525	1.25	2,525	2,430	2,430	2,505	2,365	2,345	2,465	2,485
29	2,980	1.5	2,980	2,885	2,885	2,960	2,820	2,800	2,920	2,940
34	3,435	1.75	3,435	3,340	3,340	3,415	3,275	3,255	3,375	3,395
38	3,890	2.0	3,890	3,795	3,795	3,870	3,730	3,710	3,830	3,850
43	4,345	2.25	4,345	4,250	4,250	4,325	4,185	4,165	4,285	4,305
48	4,800	2.5	4,800	4,705	4,705	4,780	4,640	4,620	4,740	4,760
52	5,255	2.75	5,255	5,160	5,160	5,235	5,095	5,075	5,195	5,215
57	5,710	3.0	5,710	5,615	5,615	5,690	5,550	5,530	5,650	5,670

## 2-6 部品リスト

## 機構別部品リスト表

部品名	仕様	材質	設定間口	個数	参考ページ
G2型手動ギア	減速比1:15	アルミダイカスト・その他		1	1~3、 9、13
六角ボルト/ワッシャー	M8×30	ステンレス		2	
クランクリング	L-200	ステンレス		1	
十字穴付きボルト/ロックナット(ナイロン付き)	M4×20	ステンレス		1	
Dサイド軸首	□13×13	ステンレス・樹脂		1	
ブラインドリベット	φ4×10.2	ステンレス		2	
クランクハンドル	大/特大/中/特小/小	スチール・樹脂		1	
Hiproモーター	M40			1	
クラウン		樹脂		1	
駆動輪		樹脂		1	
駆動輪ストッパー		樹脂		1	
十字穴付きタッピンねじ	φ5×10	スチール		1	1~3、 13、 21~24
モーターサポート		亜鉛ダイカスト		1	
セットリング		ステンレス		1	
十字穴付きタッピンねじ	φ5×15	ステンレス		1	
六角ボルト/ワッシャー	M8×30	ステンレス		2	
マイクロスイッチ	左/右			1	
操作スイッチ	標準タイプ			1	
HiproCSIモーター	M40CS/減速比1:27			1	
クラウン		樹脂		1	
駆動輪		樹脂		1	
駆動輪ストッパー		樹脂		1	
十字穴付きタッピンねじ	φ5×10	スチール		1	1~3、 13、 21~24
クランクリング	L	スチール・樹脂		1	
六角穴付きボルト/ワッシャー	M4×10	ステンレス		1	
モーターサポート		アルミ・塗装		1	
十字穴付き皿ボルト/歯付きナット	M6×30	ステンレス		2	
六角ボルト/ワッシャー	M8×30	ステンレス		2	
マイクロスイッチ	左/右			1	
操作スイッチ	標準タイプ			1	
クランクハンドル	大/特大/中/特小/小	スチール・樹脂		1	

## 共通部品リスト表

部品名	仕様	材質	設定間口	個数	参考ページ
取付ブラケット	90mm	アルミ形材		2	5、10、27
六角ボルト/ワッシャー/ナット	M8×65	ステンレス		4	
六角ボルト/ワッシャー/袋ナット	M8×16	ステンレス		4	
補助ブラケット	45mm	アルミ形材	2間～3間	1	5、10、27
六角ボルト/ワッシャー/ナット	M8×65	ステンレス	2間～3間	1	
六角ボルト/ワッシャー/袋ナット	M8×16	ステンレス	2間～3間	1	
ベースパイプ	□40×40×t2	スチール		1	11
ベースパイプキャップ		樹脂		2	
エンドブラケット		アルミ形材		2	11、12
六角ボルト/ワッシャー/ナット	M8×60	ステンレス		2	
Fサイド軸受け	φ15用	樹脂		1	
巻取パイプ	φ78.5	スチール・メッキ		1	12、13
ホワイトテープ	25×240			2	
両面テープ	25×240×t0.5			2	
Fサイド軸首	φ15	ステンレス・樹脂		1	
ブラインドリベット	φ4×10.2	ステンレス		2	
上ケース		アルミ形材		1	11、19
ケース側板(左右)		樹脂		1	
十字穴付きタッピンねじ	φ4×35	ステンレス		6	
下ケース		アルミ形材		1	18、19
下ケースホルダー		アルミ形材	1間	3	
			1.25間、1.5間	4	
			1.75間、2間	5	
			2.25間、2.5間	6	
			2.75間、3間	7	
六角ボルト	M8×16	ステンレス	1間	3	
			1.25間、1.5間	4	
			1.75間、2間	5	
			2.25間、2.5間	6	
			2.75間、3間	7	
前枠		アルミ形材		1	14～16、18
前枠カバー		アルミ形材		1	
六角穴付き止めねじ	M8×16	ステンレス		3	
六角ナット	M8	ステンレス		3	
前枠キャップ(左右)		樹脂		1	
十字穴付きタッピンねじ	φ4×16	ステンレス		6	
キャンバス				1	
キャンバスチューブ	φ5	樹脂		2	12、14、25、26
フィッシャープラグ	S8	樹脂		2	
十字穴付き皿木ねじ	φ4.8×38	ステンレス		2	
巻取サポート		アルミ形材・ZDC2・その他	3間	1	5、13、14
ベルト		PVC/PU	3間	1	
十字穴付きタッピンねじ/スプリングワッシャー	φ4×16	ステンレス	3間	2	
六角ボルト	M8×16	ステンレス	3間	2	
六角ボルト	M8×35	ステンレス	3間	1	
アーム(左右)		アルミ形材・その他		1	5、14～16
低頭六角穴付きボルト	M8×15	ステンレス		2	
アームブラケット(左右)		アルミ形材・その他		1	
角度マーク(左右)		樹脂		1	
スライドブロック		アルミ形材		2	
六角穴付き皿ボルト	M10×60	ステンレス		2	
六角ボルト(10～/25～)/ワッシャー	M10×75(16)/M10×85(16)	ステンレス		2	
アームブラケットホルダー		アルミ形材		2	
六角ボルト/ワッシャー	M8×30	ステンレス		2	
アームストッパー		アルミ形材		2	
六角ボルト/ワッシャー/ナット	M8×45	ステンレス		2	17
アームクッション		樹脂		2	
前枠ガイド		アルミ形材		2	17
ガイドキャップ		樹脂		2	
十字穴付きタッピンねじ	φ4×16	ステンレス		4	
十字穴付き止めねじ	M8×16	ステンレス		2	15、16
前枠金具		アルミ鍛造・ステンレス		2	
ゆるみ止め付き六角袋ナット	M10	ステンレス		2	
六角穴付き止めねじ	M8×40	ステンレス		2	
前枠金具ホルダー		ステンレス		2	
ゆるみ止め付き六角袋ナット	M8	ステンレス		4	

## 2-7 手動ギア（逆転防止機構付）について

### [1] 機能と特長

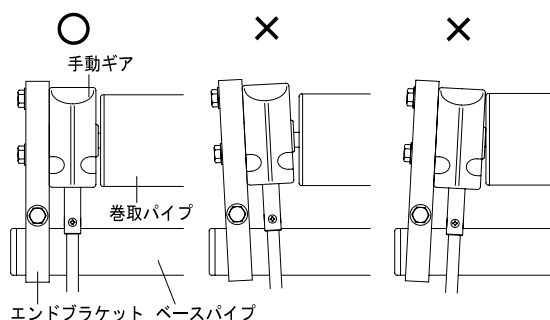
手動タイプ製品に使用されている手動機構には、キャンバスの逆巻き（下側からの巻取り）を防ぐ機能があり、誤ってキャンバスと一緒に物などを巻取るといった事から防いでくれます。あくまでも逆回転でキャンバスの巻取りを防ぐための機能ですので、張出す際にハンドルを回し過ぎるとキャンバスがたるんでしまいます。その場合は、少し巻取り方向にハンドルを回してキャンバスが張った状態で使用して下さい。

※ 手動ギアは消耗品です。交換時期は約3年又は開閉約3000往復のどちらか早い方を目安に行ってください。なお、これはあくまでも出巾2m規格品での一般的な使用方法の場合で保証値ではありません。

### [2] 施工時の注意

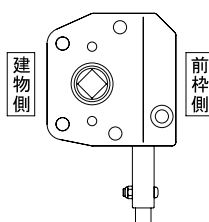
① 手動ギアを取付けるエンドブラケットが斜めにまがっていると、手動ギアに負荷がかかり逆転防止機能が働きキャンバスの張り出しの妨げとなる場合がありますのでご注意ください。

※ 組込出荷においても、運送時の衝撃等でエンドブラケットが斜めになる可能性があります。施工時には問題ないか確認して下さい。



② 手動ギア本体は取付け向きが決まっておりますのでご注意ください。前後を逆に取付けるとアームテンションによりキャンバス及びアームが飛び出すので危険です。

※ 手動ギアの上下を逆に使用することも危険です。



③ ハンドルの種類

表内の寸法はハンドルの全長です。本体のクランクリングから、真下の位置に立った時のお腹までの距離と同じ位のサイズをご使用下さい。

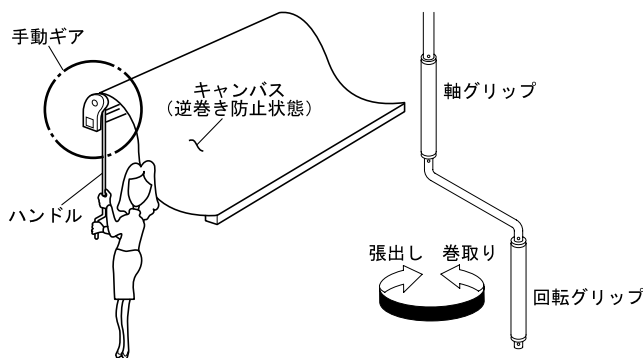
規格サイズ	
大	2,200mm
特中	1,950mm
中	1,700mm
特小	1,450mm
小	1,000mm

※ 電手動タイプも同様に選定して下さい。

### [3] 操作時の注意

操作ハンドルで開閉を行う際、本体手動ギアのクランクリングと直線になる様にし、軸グリップを固定させ、回転グリップ部分を回して操作します。

※ ハンドルと手動ギアのクランクリングが一直線でない時、開閉時の操作が重くなります。また、手動ギア及びハンドルを破損させる恐れもあります。



※ 電手動タイプの手動機構においては、張出しと巻取りの回転方向が逆になります。

### 3-1 取付けの準備

- [1] 墨出し 部材寸法に注意し、取付ブラケットのレベル、通りを墨出しして、取付ブラケットの穴位置をけがいて下さい。
- [2] 下穴あけ 構造体及び締結部品を確認の上、適した下穴あけを行って下さい。  
 ※アンカーを使用する場合は安全を第一に考えて、十分な強度のある物をご使用下さい。

参考締結部品一覧表

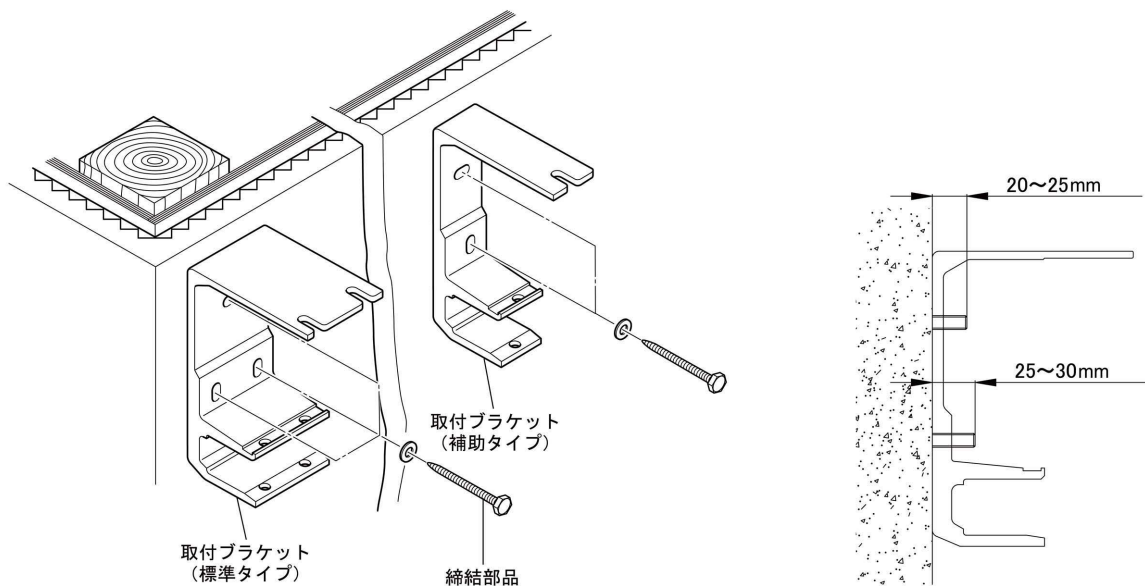
駆 体	品 種	サイズ	下穴径
木造	コーチねじ	φ9×100	φ6.5
RC打放し	グリップアンカー	M10×40	φ14.5
RC打放し	オールアンカー	M10×80	φ10.5
RC+モルタル等	アジャストアンカー	M10×80	φ15.0

#### [3] 取付ブラケットの種類

- ① 標準タイプ  
 巾90mmでボルト3本で取付けるタイプ
- ② 補助タイプ  
 巾45mmでボルト2本で取付けるタイプ

#### [4] 取付け時の注意

- ※ 取付ブラケットは所定の位置に所定の数量を必ず設置して下さい。
- ※ 取付ブラケットは重量、使用に耐えられる構造体に直接取付けて下さい。
- ※ 取付ブラケットは壁面に全体を密着させて取付けて下さい。取付け部の変形は事故につながります。
- ※ 取付ブラケットは必ず水平、垂直を出して取付けて下さい。まがった状態だとベースパイプが設置できなくなります。

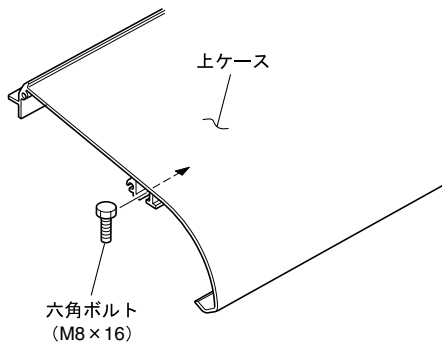


ボルト出しの場合は、図の範囲になるようにして下さい。長すぎると、キャンパスを破く可能性があります。

### 3-2 上ケースの取付け

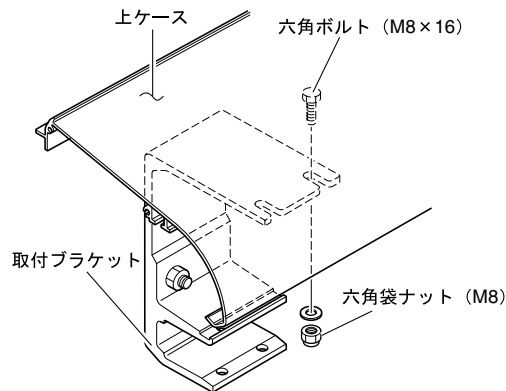
#### [1] ボルトのセット

必要数のボルトを上ケースのボルトガイドにセットして下さい。



#### [2] 上ケースの固定

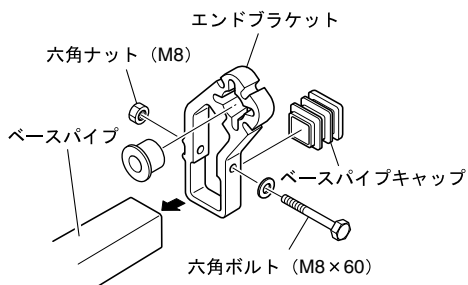
各ボルトを取付ブラケットの長穴に袋ナットで固定して下さい。



### 3-3 ベースパイプの組立

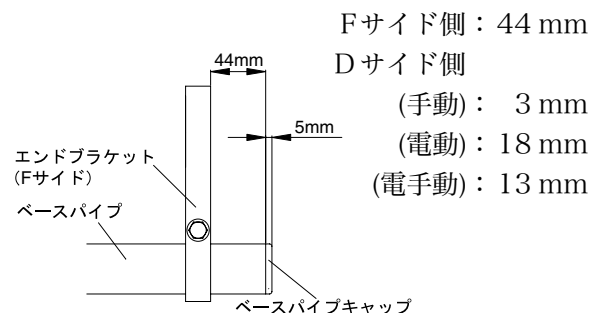
#### [1] Fサイドエンドブラケットの取付け

ベースパイプ端部から必ず44mmの位置になる様にセットして下さい。



#### [2] エンドブラケットの取付け位置

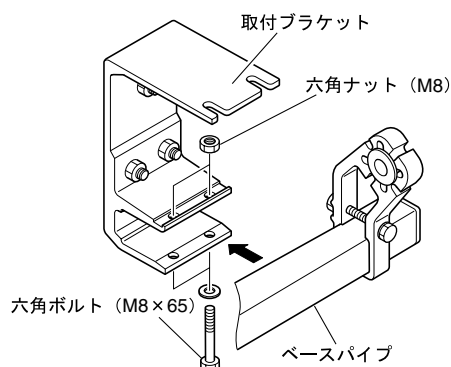
Fサイド側（巻取パイプ丸軸側）を先に固定します。Dサイド側は機構をセットするまで仮止めにして下さい。



### 3-4 ベースパイプの取付け

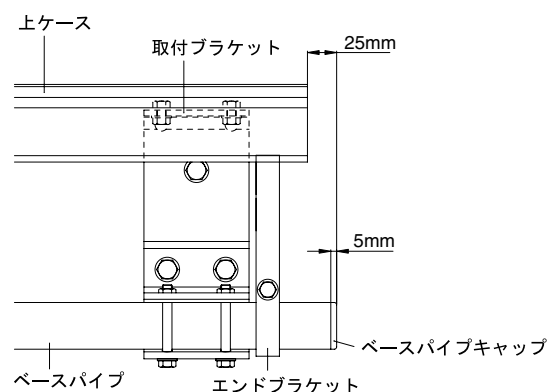
#### [1] 取付ブラケットへのはめ込み

取付ブラケットが曲がっていない事を確認してからベースパイプを正面からはめ込んで下さい。



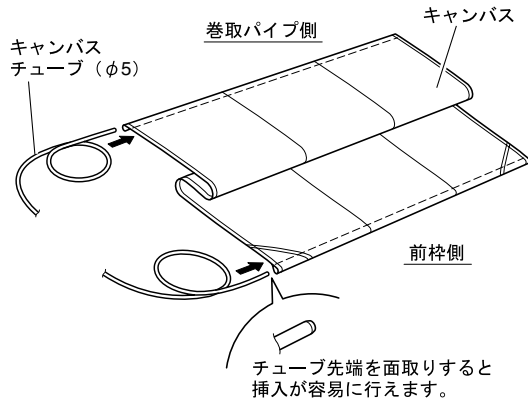
#### [2] ベースパイプの取付け位置

上ケース端部より25mm出た位置でベースパイプを固定して下さい。

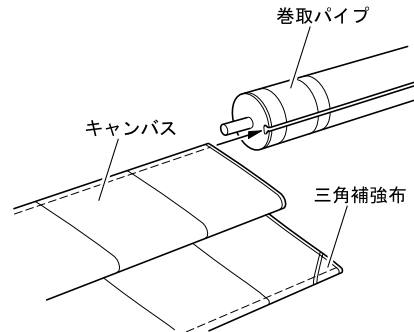


## 3-5 キャンバスの組込

[1] キャンバスチューブを挿入する。



[2] キャンバスを巻取パイプの溝に挿入する。

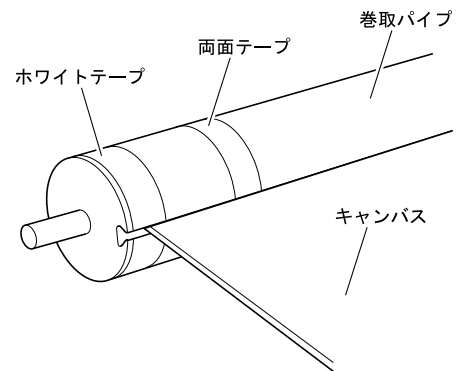


※三角補強布側が前枠側です。

[3] キャンバスの固定

キャンバス挿入後、左右のチリ（10mmずつ）を合わせ、巻取パイプへの巻き付け方向を確認した上で両面テープの保護シートをはがし、キャンバスを巻き付けて下さい。

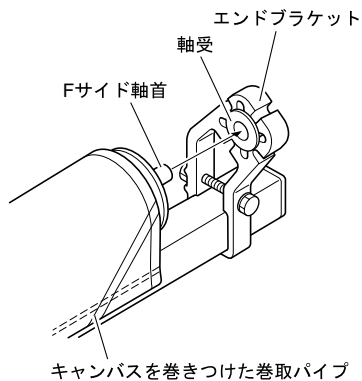
※キャンバスは緩みのない様に巻いて下さい。



## 3-6 巻取パイプFサイド側の取付け

[1] Fサイド側の設置

Fサイドブラケットの軸受けに巻取パイプの丸軸を挿入して下さい。



※巻取パイプの軸首をセットする際、押し込み過ぎると、エンドブラケットが斜めになる可能性がありますので注意して下さい。

[Fサイド側を右から左側に変更させたい場合]

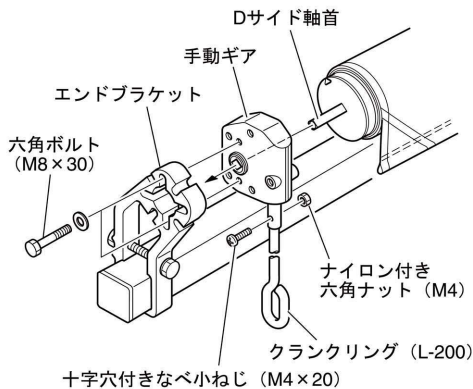
キャンバスを巻取パイプからほどき、巻取パイプの左右を逆転させてから再度キャンバスをセットし、巻き付け直します。

※キャンバスの取り扱いには、汚れや破れ等に注意して下さい。

### 3-7 巻取パイプDサイド側の取付け

#### [1] 手動タイプの場合

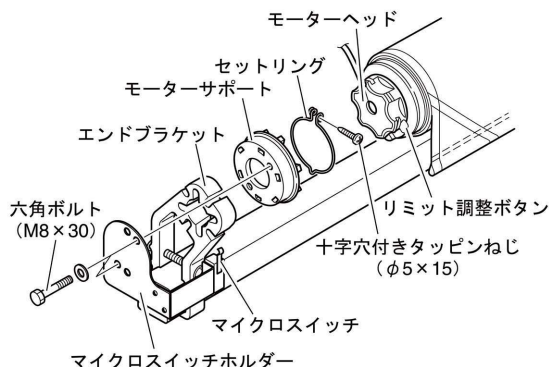
手動ギアとDサイド軸首との間に2mmほどのスキ間をとって下さい。



- ※ 手動ギアの取付け向きを逆にするとうギアがロックせず巻取パイプが回転してしまい危険です。
- ※ エンドブラケットが斜めになっていると、ギアに負荷がかかり逆転防止機能が働き、張り出しができなくなる可能性がありますので注意して下さい。

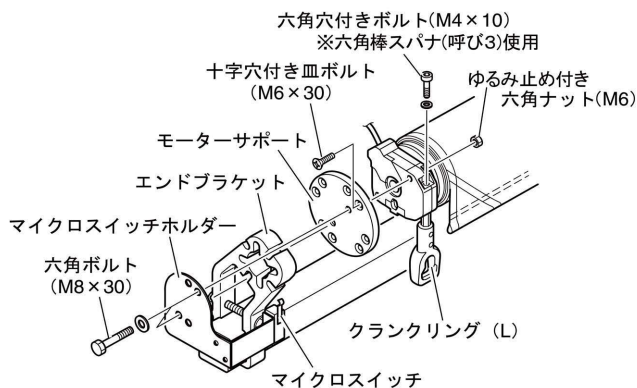
#### [2] 電動タイプの場合

リミット調整ボタンが前枠側の斜め下方向になるようセットして下さい。



- ※ セットリングはモーターサポートにセットした状態でモーターヘッド部分にはめ込みます。タッピンねじ取付け部分を手で押し開いてやるとはめ込みやすくなります。
- ※ モーターの巻取パイプへの着脱方法は21ページを参照して下さい。

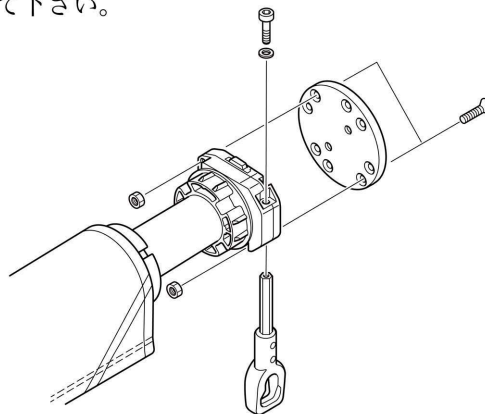
#### [3] 電手動タイプの場合



- ※ モーターの巻取パイプへの着脱方法は21ページを参照して下さい。

#### [モーターを左から右側に入れ替える場合]

クランクリング及びモーターサポートを入れ替えて下さい。

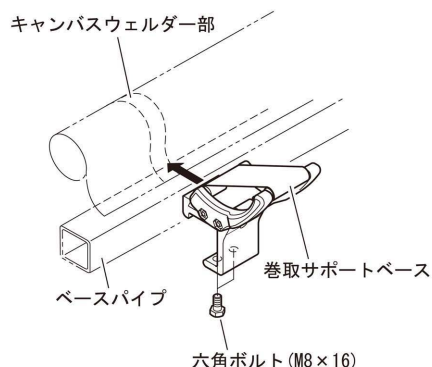


### 3-8 巻取サポートの取付け

※間口 3.0k のみ

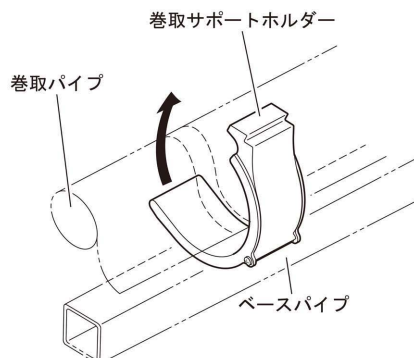
#### [1] 巻取サポートベースの取付け

キャンバス中央のウェルダ位置に合わせて固定します。



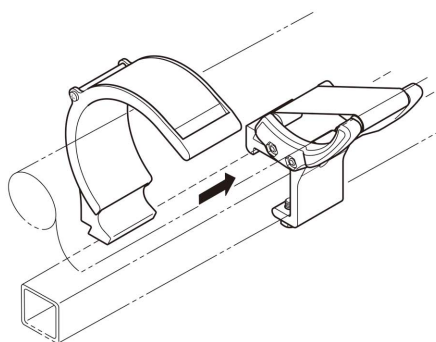
#### [2] 巻取サポートホルダーのセット

巻取パイプとベースパイプの間に差し込み、半回転させます。

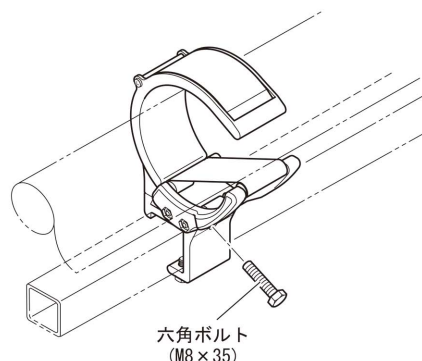




- [3] 巻取サポートベースとホルダーの組立  
巻取サポートホルダーを巻取サポートベース横からスライドさせて差し込みます。

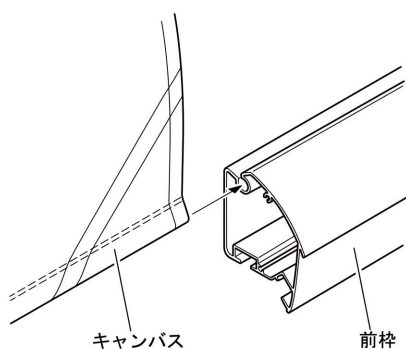


- [4] 巻取サポートホルダーの固定

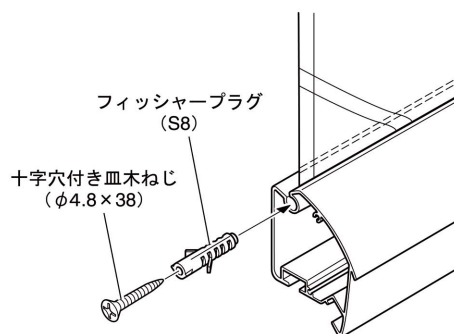


## 3-9 前枠の取付け

- [1] キャンバスのセット  
チューブがセットされたキャンバスを前枠に挿入する。



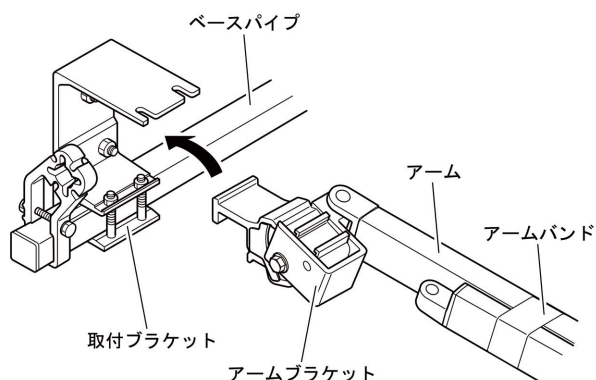
- [2] キャンバスと前枠の固定  
左右のチリ (42.5mmずつ) を合わせてからフィッシャープラグで固定します。



※ キャンバスチューブはフィッシャープラグ分、短く切っておいて下さい。

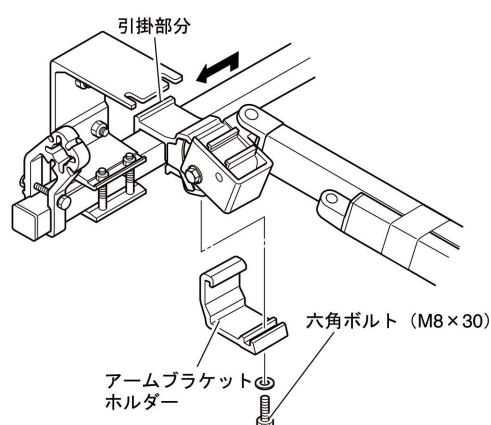
## 3-10 アームの取付け

- [1] アームブラケットのセット  
ベースパイプに対してアームを直角にして取付けます。



※ アームバンドは前枠とアームを固定するまでは取り外さないで下さい。  
※ アームブラケットの取り付け位置は2ページ、5ページ等を参照して下さい。

- [2] アームブラケットホルダーの取付け  
アームブラケットの引っ掛け部分に横からスライドさせ、引っ掛けてから固定します。

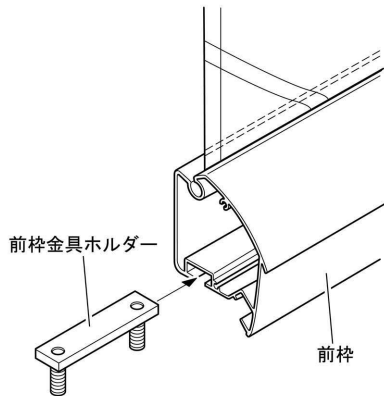


※ 現場状況により建物と壁とのスキ間が狭い場合はベースパイプを手で引っ張りながら行って下さい。

### 3-11 前枠金具の取付け

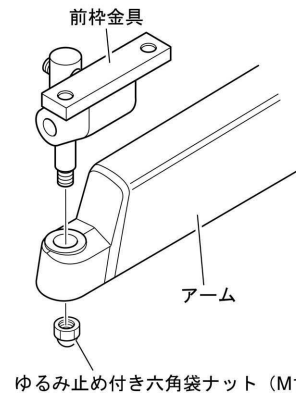
#### [1] 前枠金具ホルダーのセット

前枠の両側からスライドさせます。

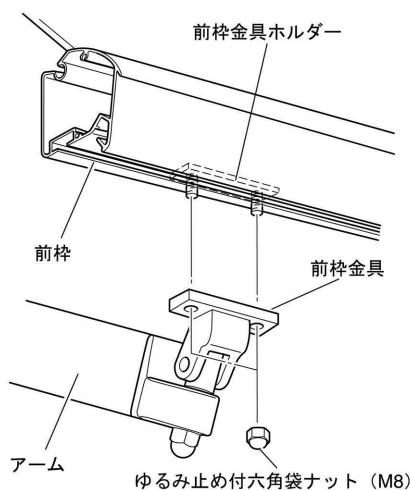


#### [2] 前枠金具のセット

アーム先端の穴に前枠金具をはめ込み固定します。



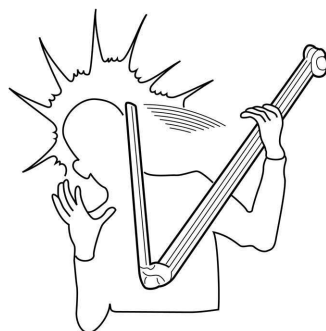
#### [3] 前枠とアームの仮固定



#### [4] 仮固定位置

前枠型材端部から前枠金具の芯寸法です。

10アーム時	: 378mm
15、20アーム時	: 308mm
25アーム時	: 318mm



※ アームバンドを外す時は十分注意して下さい。強いスプリングでアームが伸びるので、しっかり手でおさえて下さい。

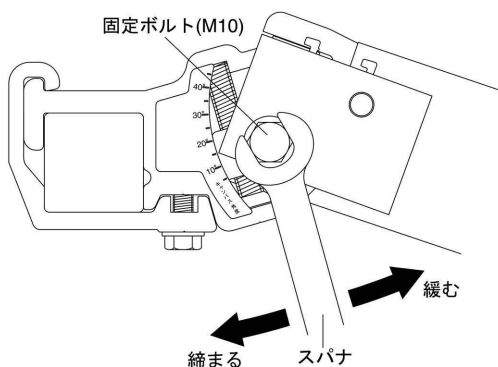
※ あくまでも仮固定位置ですので必ず微調整が必要となります。

※ 上記の寸法は標準的なアームブラケット取付け位置（ベースパイプ端部から175mm）での寸法となります。

### 3-12 アーム角度の調整

#### [1] 固定ボルト

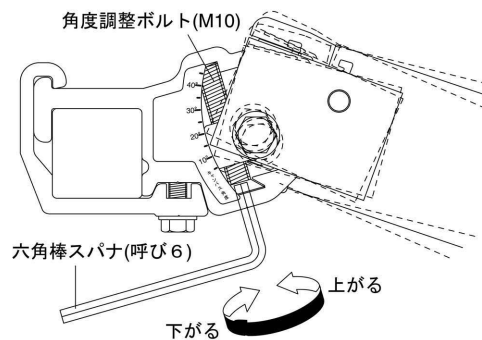
調整を行う前に、アームブラケット側面の固定ボルトを緩め、調整完了後、締め付け直します。



※ スパーナを回す際は、アームを支えながら（持ち上げながら）行うか、アーム（前枠）が収納された状態で行って下さい。

#### [2] アームの上下方法

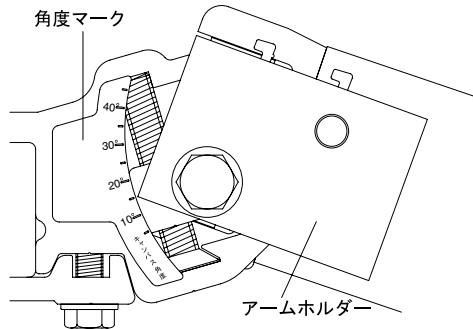
六角棒スパナを下穴にセットして回します。



※ 六角棒スパナを回す際は、アームを支えながら（持ち上げながら）行うか、アーム（前枠）が収納された状態で行って下さい。

### [3] アーム角度の目安

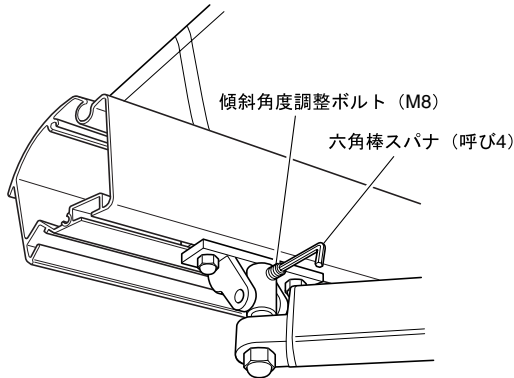
アームブラケット側面の角度マークがキャンバスの角度となり、左右のアームを同じに設定します。アームホルダーの角を目盛りと合わせます。



※ アームのサイズ、個々によって多少異なります。微調整は前枠の水平を確認しながら行って下さい。

### [2] 前枠の傾斜調整

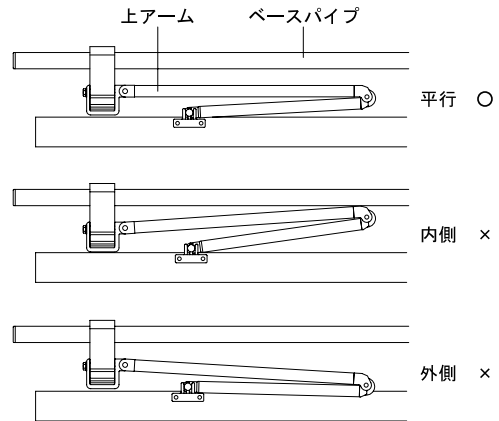
アーム角度の設定後、前枠の傾きを調整します。



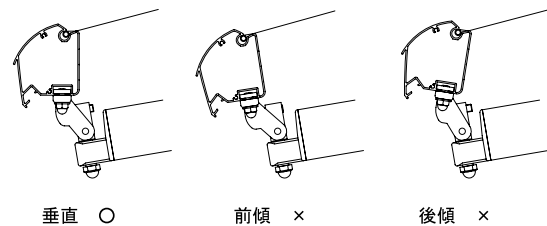
## 3-13 前枠金具の調整

### [1] 前枠金具の位置調整

前枠金具を左右に移動させ、前枠が収納された時点でベースパイプと上アームが平行になるよう調整して下さい。



※ 下図の垂直状態は収納された時のものです。

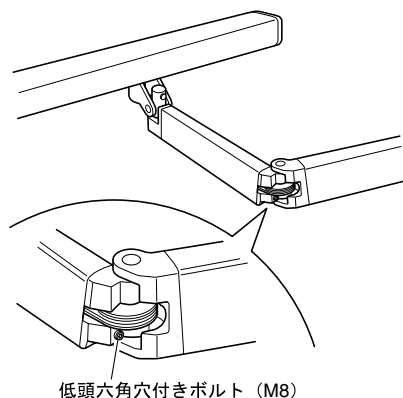


## 3-14 アームテンションの調整 (参考)

アームテンションは工場出荷時に予め調整を行っておりますが、状況によってテンションを弱めたい場合などは、下記の要領で調整を行って下さい。

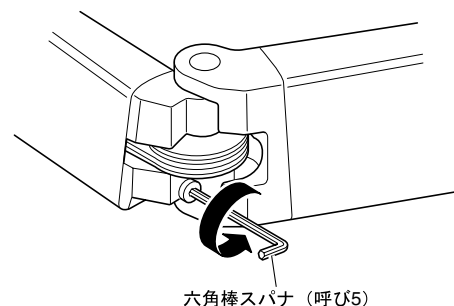
### [1] 調整ヶ所

テンション調整はアームエルボ部分の低頭六角穴付きボルトで行います。



### [2] 調整方法

テンションを弱くするには、低頭六角穴付きボルトを出す方向 (左回し) で調整します。



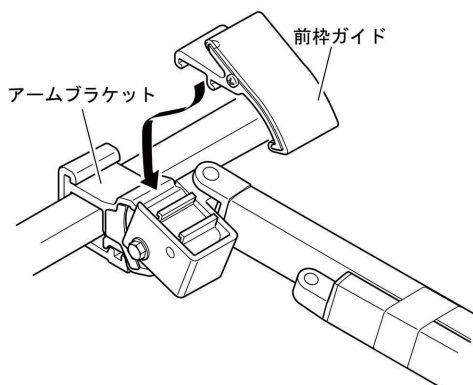
※ 低頭六角穴付きボルトの標準設定位置は全て締め込んだ状態です。

※ ボルト頭が接触するまでアームが伸びると、キャンバスがたるみますので、その前で止めて使用して下さい。

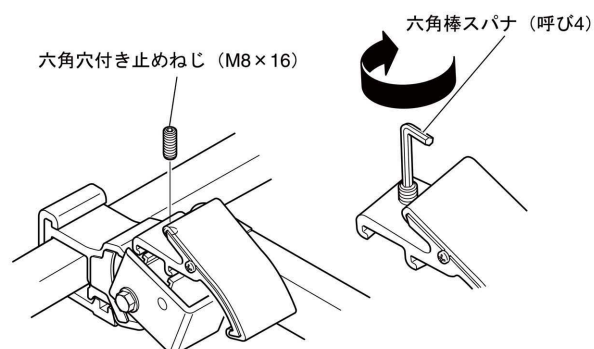
### 3-15 前枠ガイドの取付け

#### [1] 前枠ガイドの引掛け

アームブラケット上部の溝に前枠ガイドを引掛けます。



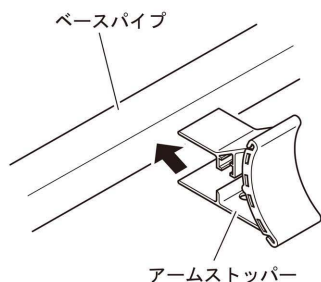
#### [2] 前枠ガイドの固定



### 3-16 アームストッパーの設置

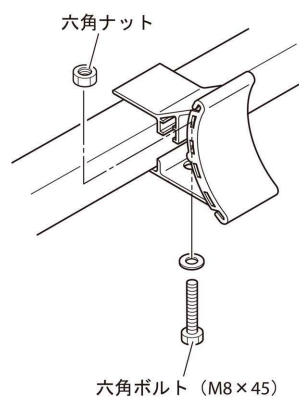
#### [1] ベースパイプへセット

ベースパイプ正面から差し込みます。



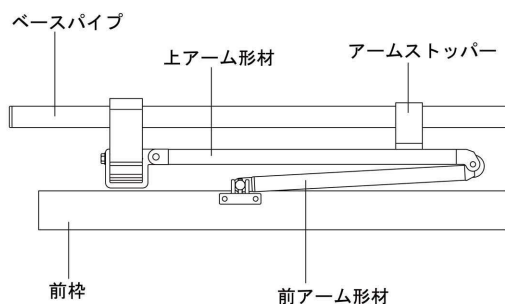
#### [2] ボルトの固定

ボルト、ナットを取付けて締め込みます。



#### [3] 取付け位置

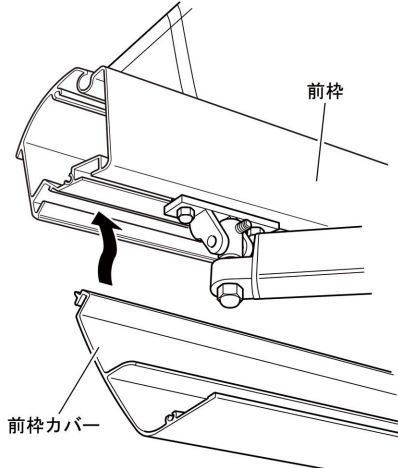
上アーム先端の形材部分にあたる様に取付け位置を調整して下さい。



## 3-17 前枠の組立

### [1] 前枠カバーの引掛け

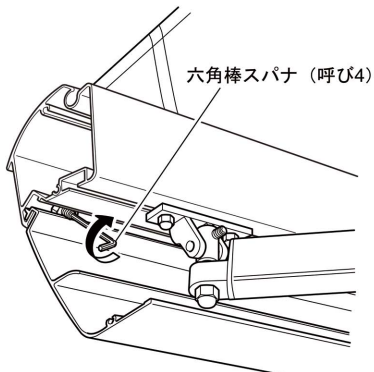
アーム・前枠金具等、各部の調整が済んだら、前枠カバーを前枠に引掛けます。



※ アームが伸びきった状態の時（キャンバスが緩んだ状態）に前枠カバーを引掛けて下さい。アームテンションで前枠形材がしなっていると、引掛けが困難となります。

### [3] 前枠カバーの固定

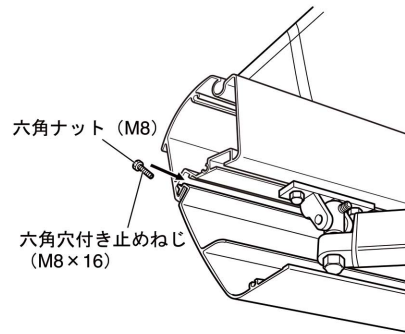
六角棒スパナで締め込みます。



※ 締め込みすぎると前枠形材が変形するので注意してください。

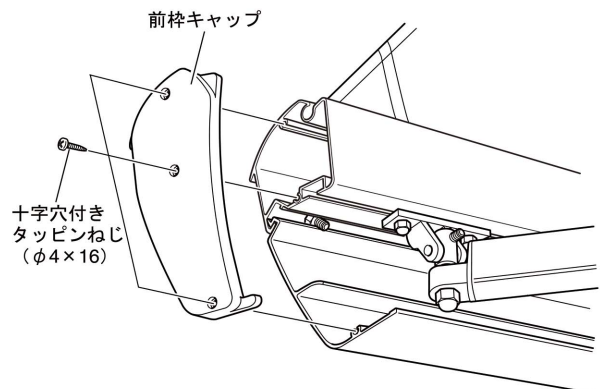
### [2] 固定部品のセット

引掛け部分のスキ間に、六角穴付き止めねじをセットしたナットをスライドさせます。



※ 取付けは両端と中央の計3ヶ所にセットして下さい。

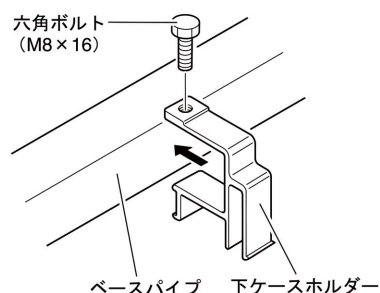
### [4] 前枠キャップの取付け



## 3-18 下ケースの取付け

### [1] 下ケースホルダーの取付け

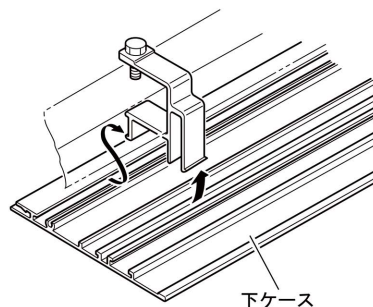
ベースパイプ正面から差し込み、六角ボルトで固定します。



※ 六角ボルトは下ケースを取付けてから締め付けて下さい。先に固定すると、下ケースの取付けが困難となります。

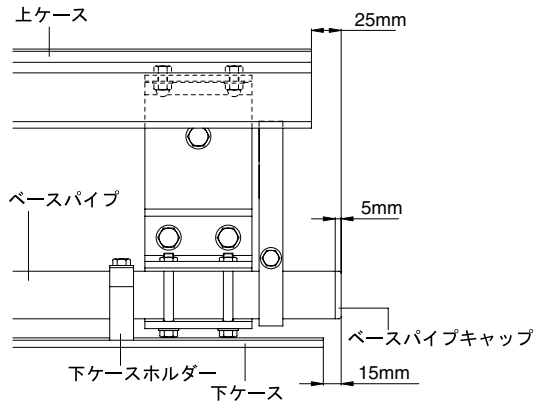
### [2] 下ケースのセット

先に下ケースの後方部を下ケースホルダーにはめ込み、下ケースの前方を上押し上げると固定されます。



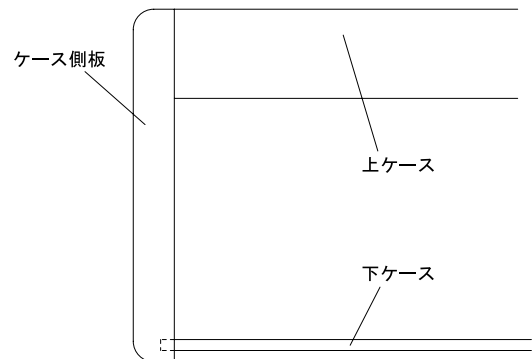
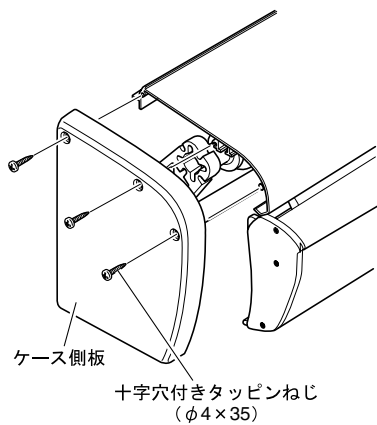
## [3] 取付け位置

ベースパイプの長さを基準にしてセットして下さい。



## 3-19 ケース側板の取付け

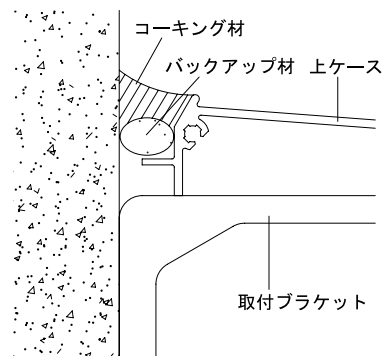
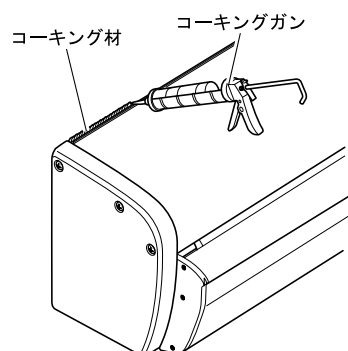
上ケース・下ケースの取付け位置を確認の上、ケース側板を取付けて下さい。



※ 下ケースはケース側板にもぐらせる様になります。

## 3-20 コーキング

建物と上ケースの間をコーキングして下さい。



※ 施工状況に応じてバックアップ材を使用して下さい。

## 3-21 施工後のチェック項目

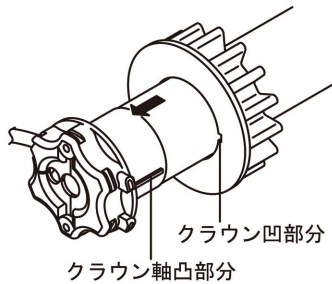
施工後に必ず動作確認を行い、その後下記の項目をチェックして下さい。

点検力所	チェック項目	参考ページ
取付ブラケット	ブラケットの取付けに適正締結部品を使用したか	3、10
	ねじの緩み、締め忘れはないか	10
	ベースパイプ固定用ボルトの増締めをしたか	11
	補助ブラケットを使用したか（間口規格2間以上）	10
エンドブラケット	Fサイド側の取付け基準位置は適正か	11
	F・Dサイド共にエンドブラケットは斜めになっていないか	11
	正面から見て手動ギアが斜めになっていないか（手動タイプ時）	9
	モーターサポートの取付けは問題ないか（電動・電手動タイプ時）	13
巻取パイプ	軸受けと軸首のスキ間は1～2mmになっているか	12
	Fサイド軸首はリベット固定されているか	12
	Dサイド軸首はリベット固定されているか（手動タイプ時）	12
	駆動輪はリベットで固定されているか（電動・電手動タイプ時）	21
	キャンバス固定用の両面テープを忘れずに貼ったか	12
	キャンバスの左右のチリは同じか	12
前枠	前枠金具の位置、締め付けは確実か	15、16
	キャンバスはフィッシャープラグで固定したか	14
	キャンバスの左右のチリは同じか	14
	キャンバス張り出し時、前枠のレベルは水平か	15
	前枠カバーの固定ボルトは適正か	18
	収納時、前枠は垂直に収まっているか	16
	前枠ガイドの取付け及び適正位置に納まっているか	17
アーム	アームブラケットの取付け方法及び位置は適正か	5、14
	アームのサイズ別適正角度で設定したか（M10）は確実に締め付けたか	4
	アーム収納時、アーム形材がアームストッパーに適正位置で接しているか	17
	アームブラケットホルダーの固定ボルトは確実に締め付けたか	14
	キャンバス張り出し時、アームエルボ部の低頭六角穴付きボルトの頭が接触していないか	16
巻取サポート （間口規格3間）	ベースパイプにしっかり固定されているか	14
	巻取サポートの上側と下側は固定されているか	14
	キャンバスのウエルダー部に納まっているか	13
上ケース	上ケースの固定ボルトは確実に締め付けたか	11
	上ケースはベースパイプ、前枠等と平行に設置できているか	2、19
	取付け面（壁面）と上ケースの間にコーキングをしたか	19
下ケース	下ケースホルダーは適正な数、位置に設置したか	8、18
	下ケースホルダーの固定ボルトは確実に締め付けたか	18
	下ケースはベースパイプ、前枠等と平行に設置できているか	2、19
その他	キャンバスのたるみ、シワ等はないか	9、25
	手動ギアの取付け向きは適正か（手動タイプ時）	9
	手動ギアの逆転防止機能は問題ないか（手動タイプ時）	9
	クランクリングの固定ボルトを確実に締め付けたか（手動・電手動タイプ時）	13
	クランクハンドルは適正な長さのものが設定できているか	9
	モーターのリミット調整による停止位置は適正か（電動・電手動タイプ時）	22
	キャンバスの開閉方向とスイッチの開閉表示とが合っているか（電動・電手動タイプ時）	24
	屋外配線のコードはU字結線されているか（電動・電手動タイプ時）	コントロールマニュアル
	取り扱いの注意を説明し説明書を手渡し、施工完了書にサインを受けたか	取扱説明書

## 4-1 モーターの組込み

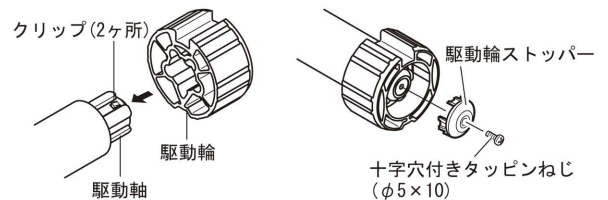
## [1] クラウンの取付け

クラウンの凹部分をモーターのクラウン軸の凸部分に合わせてはめ込んで下さい。



## [2] 駆動輪の取付け

駆動輪のクリップが「カチッ」と音がするまではめ込みます。

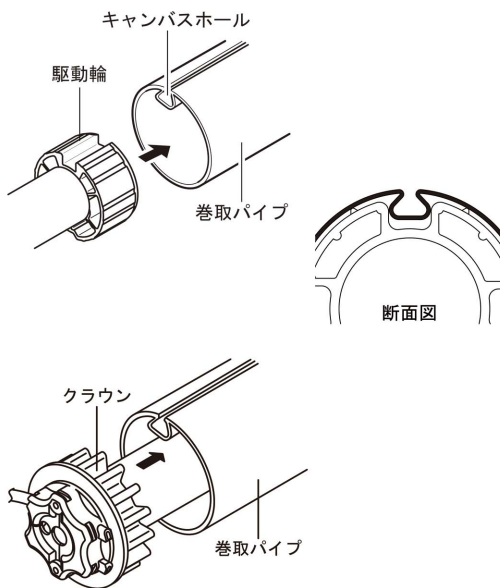


※ 駆動輪ストッパーはM40(M40CS1)のみで使用します。

※ 外す場合は2ヶのクリップを摘んだ状態で、駆動輪を引き抜いて下さい。強引に引き抜くとクリップが破損します。

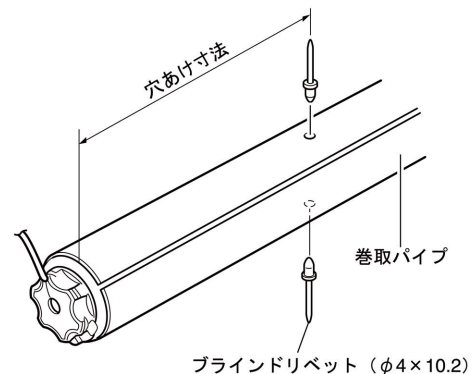
## [3] 巻取パイプへのはめ込み

駆動輪及びクラウンの溝を巻取パイプのキャンパスホールに合わせてはめ込みます。



## [4] モーターの固定

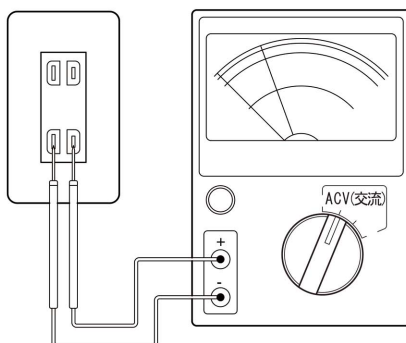
巻取パイプにモーターのはめ込みが終わったら、駆動輪と巻取パイプをリベットで固定します。リベットの固定にはドリルで下穴をあける必要があります。



機種	mm
M40(540R3)	568
M40CS(540R3CSI)	625

## 4-2 電源の確認

テスターを使ってコンセントの電源の確認をします。



テスターのレンジ切り替えつまみをACVの最高レンジに合わせ、大体の値を確認した上で最適なレンジに切り替え、再度測定して下さい。測定によりAC100V (95~107V) を確認した上で、ご使用下さい。

※ ご使用されるテスターの取り扱い説明書等は必ずお読みいただいた上でご使用下さい。



## 4-3 モーター性能表

単相:AC100V (AC95~107V)

品番 (表示番号)	定格トルク (Nm)	回転数 (rpm)		初期電流 (A)	消費電流 (A)	消費電力 (VA)	定格時間 (分)	リミット 回転数範囲	重量 (Kg)	全長 (mm)	手動ギア 減速比	保護 等級
		50Hz	60Hz									
M40(540R3)	40	12	14	3.1	2.35	235	5	41	2.55	613	—	IP44
M40CS(540R3CSI)	40	12	14	3.1	2.35	235	5	34	3.24	677	1 : 27	IP44

※ 定格時間 (分) は定格トルクを継続して動作する時間。5分連続動作させるとサーモスタットの働きにより自動停止。  
(30分以上で自動復帰)

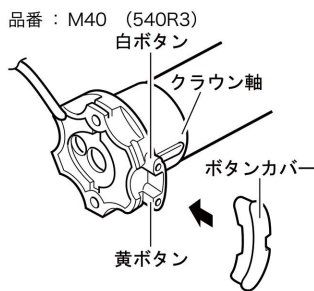
※ リミット回転数範囲は正転・逆転それぞれの最大回転数。(巻取パイプが回転する量)

※ リミット装置はモーターが巻取パイプにセットされた状態でないと正常に動作いたしません。

※ モーターは防水構造ではありませんので(保護等級:IP44) 雨水などが直接かかる場所では使用しないで下さい。

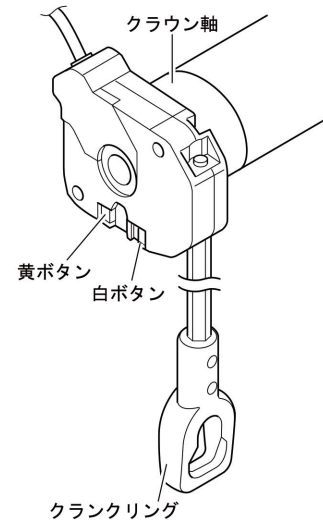
※ モーターは消耗品です。交換は5年または5,000往復回のどちらか早い方を目途に行ってください。(なお、これはあくまでも出  
巾2mの規格品での標準的使用方法の場合で、保証値ではありません。)

## 4-4 リミット装置とモーター線



※ リミット調整後、ボタンカバーのはめ忘れに注意して下さい。

品番: M40CS (540R3CSI)



※ CSIモーターでリミットスイッチが下側になる場合、或いはリミット延長金具を設ける場合、ボタンカバーは取り付け不要です。その他、施工でボタンカバーが障害となる場合は不要です。

リミット調整時のボタンとモーター線の関係

設置状況	方向	ボタン色	モーター線の色
左付けの場合	張出し (開)	黄	白×赤
	巻取り (閉)	白	白×黒
右付けの場合	張出し (開)	白	白×黒
	巻取り (閉)	黄	白×赤

## 4-5 リミット調整方法 (モーター左付けの場合)

- ① 電源を入れない状態で、白ボタン・黄ボタンそれぞれを「カチッ」と音がするまで押し込みます。(ボタンが下がった状態で保持されていれば大丈夫です)
- ② 結線済みのスイッチ (モーター線: 白×赤) 等でキャンバスを張り出し、ご希望の位置で停止させていただきます。  
※ 出し過ぎた場合は、巻取り操作 (モーター線: 白×黒) を行って位置決めして下さい。
- ③ 下がった状態の黄ボタンのみを再度押し込みます。(手を放すとボタンが最初の位置まで戻ってきます) これで張り出し方向の調整は終わりです。
- ④ 次に、巻取り操作 (モーター線: 白×黒) を行って収納させ、適正位置で停止させていただきます。  
※ 入り過ぎた場合は、張り出しの操作 (モーター線: 白×赤) を行って位置決めして下さい。
- ⑤ 下がった状態の白ボタンを再度押し込みます。(手を放すとボタンが最初の位置まで戻ってきます) これで巻取り方向も終わりです。  
※ 上記は張り出し方向からの調整方法です。巻取り方向が先の場合は、番号①→④⑤→②③の順番で行ってください。  
※ モーター右付けの場合は、ボタン色とモーター線の色が異なりますので上記の表をご確認の上、リミット調整を行ってください。

## 【重要】

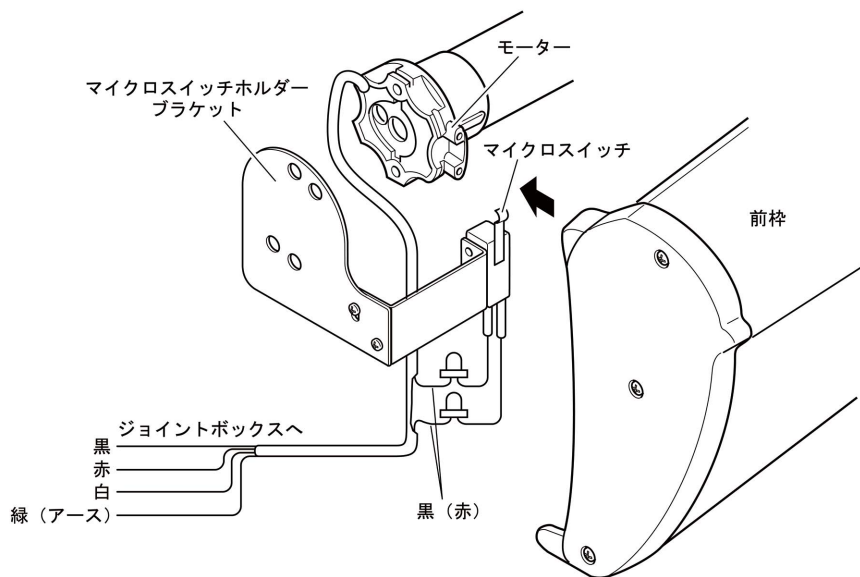
※ モーター線は直接コンセント等の電源に差し込んでリミット調整をしないで下さい。ショートやモーター破損の原因となります。

※ AC100V電源で電圧が95～107Vの範囲でないとモーターは正常に動作せず故障の原因となります。

※ モーターを連続5分動作させると内蔵されたサーモスタットが働き、熱からモーター破損を防ぐため一時的に停止状態となります。モーター内部の温度が下がると再び動作します。（30分以上で自動復帰）

## 4-6 マイクロスイッチの結線

電動・電手動タイプでモーターを取付ける場合、巻取り方向のリミット調整を本図のシステムを使用して停止させます。



配線色	左付けの場合	右付けの場合
黒	巻取り (閉)	張出し (開)
赤	張出し (開)	巻取り (閉)
白	コモン	コモン
緑	アース	アース

※ 本図はモーターが左付けの場合です。右付けの場合は ( ) の様に結線をして下さい。

※ マイクロスイッチホルダーは左付け用と右付け用がありますので、発注時にご指定いただく必要があります。

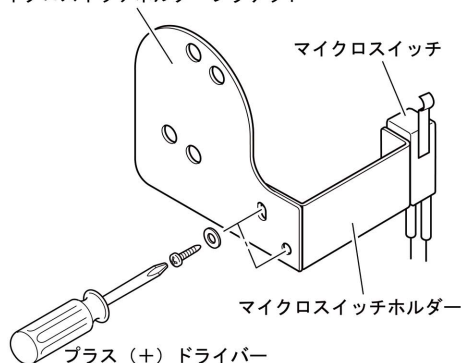
※ マイクロスイッチの青コードは不要です。

## 4-7 マイクロスイッチの取付け微調整

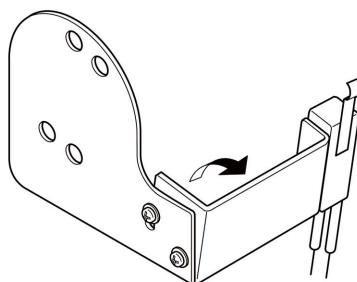
現場状況等で収納時の納まりを調整する必要がある場合に行ってください。

## [1] 調整ねじ位置

マイクロスイッチホルダーブラケット



## [2] マイクロスイッチホルダーの調整

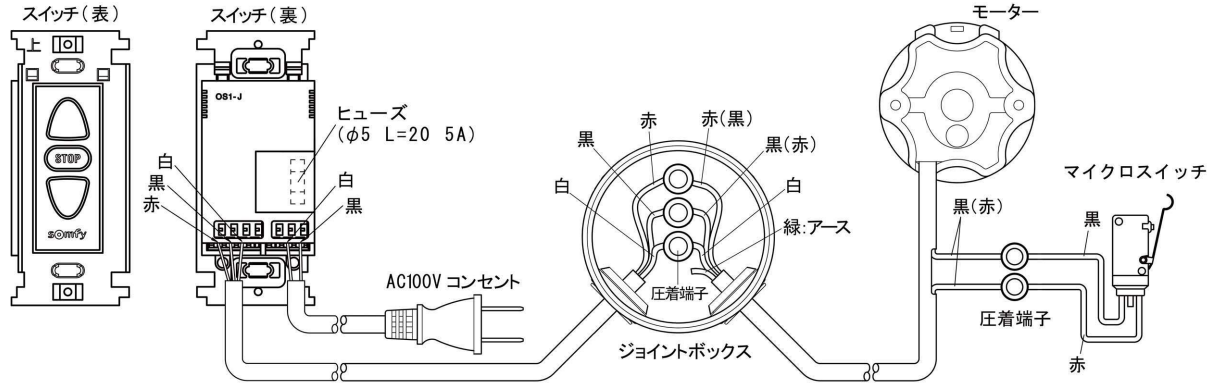


※ 微調整後、プラスドライバーにてねじを締め付けておいて下さい。

## 4-8 標準スイッチ

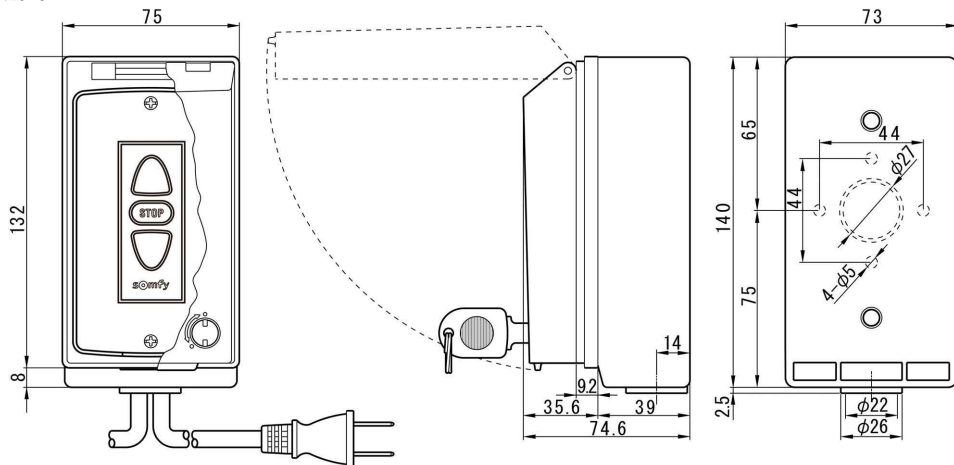
### [1] 結線

電動（電手動）タイプの製品1台を標準スイッチで操作する場合の方法です。



- ※ 本図はモーターが左付けの場合です。右付けの場合はジョイントボックス内で( )のように結線して下さい。
- ※ スwitchは防水構造ではありませんので、直接雨のかかる場所への設置はお避け下さい。
- ※ 標準スwithで複数のモーターを作動させる事はできません。
- ※ モーター線の緑コードはアース線です。現場の状況に応じた設置方法をお取下さい。
- ※ スwithにはアース線のつなぎ込みが可能な端子(サージアブソーバー専用)が設けられております。

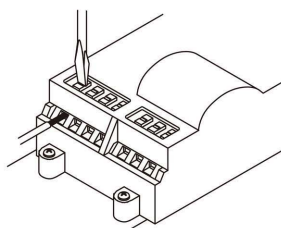
### [2] 外観図



付属品：開閉シール（各1枚）／鍵（2個）／電源プラグ付コード（3m）／モーター配線コード（5m）  
ジョイントボックス（1ヶ）／圧着端子（3ヶ）

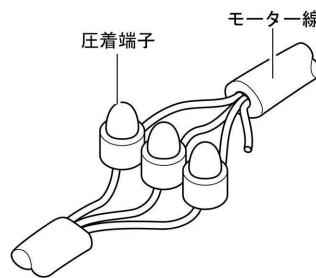
### [3] スwitchとコードの接続

より線を接続する場合、マイナスドライバーで端子ボタンを押したまま配線コードを差し込みます。単線の場合、差し込むだけで接続が可能です。接続後は配線コードをかるく引張り、抜けない事を確認して下さい。



- ※適合電線範囲はφ1.0～φ1.6mmです。
- ※コード長さ(皮膜ムキ)は9mmです。

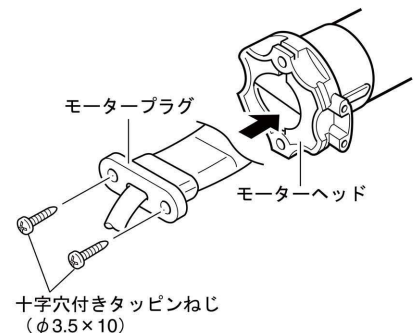
### [4] ジョイントボックス内の接続



※モーター線のアースは現場の状況に応じた処置を施して下さい。

### [5] モータープラグの脱着

モーター交換時に差し替えが可能です。



※電手動タイプのモーターではプラグの形状が異なります。

## 5-1 キャンバス選定の注意

エルバーネ"NSマキシム・ボックス"のキャンバス選定にあたっては、下記の事項に注意して下さい。

### [1] 厚さ

エルバーネに適したキャンバスの厚みは0.45mm以下のものです。0.45mmを超えると巻太り、シワの発生等が起こる場合が考えられます。ただし出巾によっては、下記に示す範囲以内であれば0.45mmを超えるキャンバスでも使用可能な場合もあります。

※ 出巾が20アーム以下の場合

キャンバス厚みが0.55mm以下のものであれば使用可能です。ただし間口は巻取サポートを使用しない範囲に限ります。20アームを超えて使用するとキャンバスが破れたり、糸のほつれが発生する場合があります。

### [2] 重さ

エルバーネに適したキャンバスの重さは500g/m<sup>2</sup>以下のものです。500g/m<sup>2</sup>を超えるものを使用するとキャンバスたるみの発生原因となり、設定勾配によっては雨が溜まる場合があります。また、キャンバスとアームがこすれる等の問題も発生します。

### [3] 強度

引張り、引き裂き等の強度が低いものはエルバーネには適していません。強度が低いものを使用した場合、風等の外力を受けるとキャンバスが損傷する可能性があります。

### [4] アクリルキャンバスの使用範囲

アクリルキャンバスは巻取りサポートの設定がない範囲で使用する事を推奨します。また、横つなぎの使用は絶対に避けて下さい。横つなぎで使用すると縫い目から裂ける場合があります。なお、アクリルキャンバスはミシン縫製により、縫い目から雨が漏れる場合がありますので、日よけ等にご使用する事を推奨します。

### [5] ガラス繊維キャンバス

ガラス繊維キャンバスはエルバーネには適していません。ガラス繊維の場合、キャンバスチューブの袋縫い部分等の小さい半径で折り曲げるとガラス繊維が折れてしまい、そこから破れる場合があります。

### [6] 柔軟性

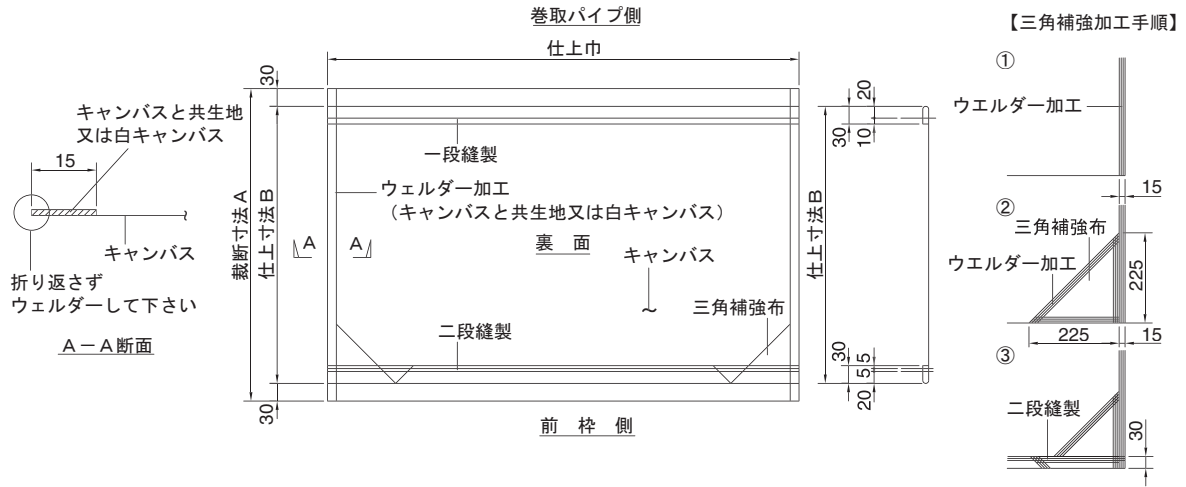
エルバーネには柔軟性のあるキャンバスを使用して下さい。柔軟性のないキャンバスを使用すると巻取パイプに馴染まず巻太りして、シワ等の発生原因になる場合があります。

### [7] 滑りやすさ

滑りの悪いキャンバス、手で触って、ベタベタするようなキャンバスはエルバーネには適していません。キャンバス同士がくっついて、シワ等の発生原因になる場合があります。

## 5-2 縫製方法

### [1] 裁断と加工



- ※補修や補強を行う場合は、ウェルダ溶着及びミシン縫製と同じ方法で行って下さい。
- ※電動・電手動タイプの場合、張り替えや補修等を行った際にはリミットの再調整を行って下さい。
- ※キャンバスの仕上がり巾は伸びしろを考慮して製作して下さい。

### [2] ウェルダ/ミシン縫製

ウェルダ及びミシン縫製はツレ・シワが発生しない様に注意して下さい。また、中央にウェルダ、ミシン縫製がくる様に調整して下さい。



### [3] キャンバス寸法表

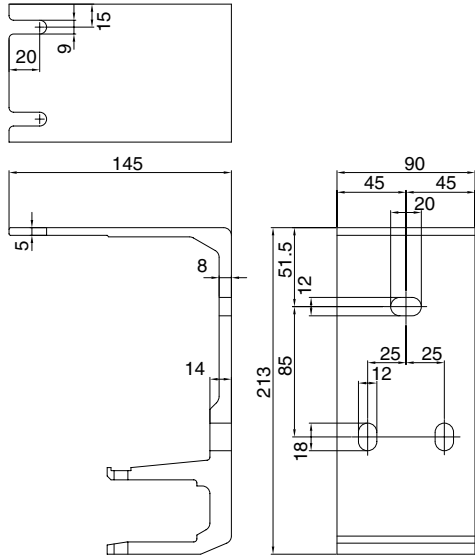
単位：mm

アーム	10	15	20	25
裁断寸法 A	1,460	1,900	2,400	2,900
仕上寸法 B	1,400	1,840	2,340	2,840

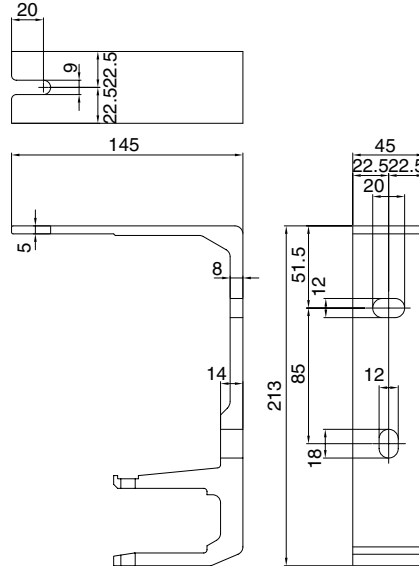
※間口仕上寸法に関しては2ページの平面納まり図及び7ページの部材寸法設定表を参考にして下さい。

## 6-1 取付ブラケット

[1] 標準ブラケット

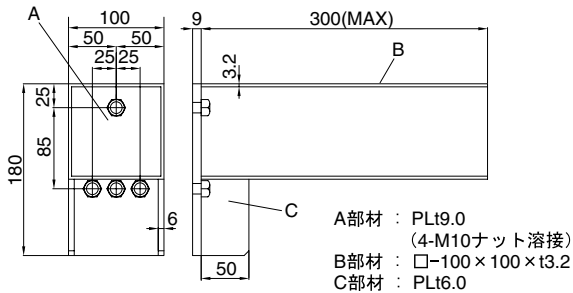


[2] 補助ブラケット

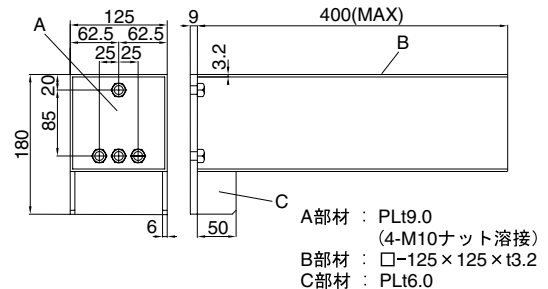


## 6-2 持出し用下地金具 (標準タイプ)

[1] 100角仕様

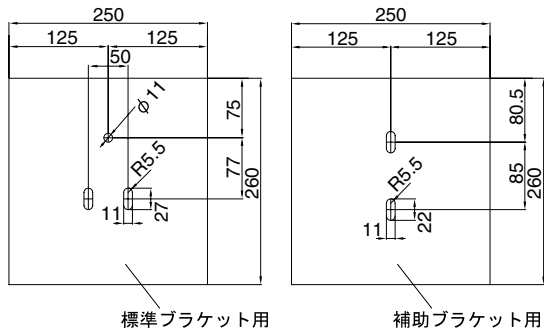


[2] 125角仕様



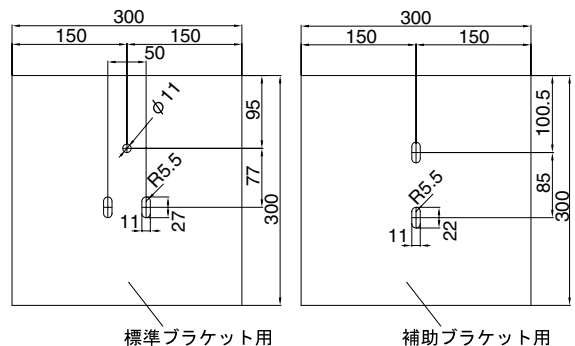
## 6-3 目かくしプレート

[1] 250タイプ



- アルミPL-t1.0
- 表面ホワイト塗装

[2] 300タイプ



- アルミPL-t1.0
- 表面ホワイト塗装





テンパル

●お問い合わせ、ご用命は

株式会社テンパル

本社／〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-9-12

東京 ☎ 03(5925)6573

横浜 ☎ 045(271)1151

大阪 ☎ 06(6264)5569

福岡 ☎ 092(433)6835

名古屋・広島・高松・鹿児島・仙台

●改良のため予告なく製品の仕様を変更する事がありますので予めご了承下さい。

●表示内容は2010年6月現在のものです。

●発行／初刷2003年1月・6刷2010年6月